

# SATICINE MEDICAL

## ブランド・消費者・生産者をつなぐ“正しい綺麗”の好循環

TEXT: YOSHIE KAWAHARA, DESIGN: JIRO FUKUDA

「1人でも多くの女性に正しい綺麗を」を理念に掲げる化粧品OEMメーカーのサティス製薬は、2010年に「ふるさと元気プロジェクト(以下、FGP)」を発足した。これは、日本全国のさまざまな天然素材をスキンケアの原料として化粧品に配合し、“人の肌を綺麗”にすることと生産地の活性化を同時に目指すプロジェクトだ。スタートから14年。その規模は広がり、地域活性化の好循環を生む取り組みとして、化粧品業界の枠を超えて高く評価されている。

FGPは山崎智士代表取締役の「肌悩みを解決するための原料を妥協したくない」という思いをきっかけにスタートした。「FGPの発足前、ある肌悩みと向き合う開発案件があり、最適な原料を探したものの既存の原料に相当するものがなかった。高性能な製品を作り出す方式は『ハイスベックな原料×処方する技術』であるため、原料を妥協するわけにはいかなかった。そこで、適した原料を自分たちで創り出せないか?と思い立った」。現在に至るまで、開発した原料は100種を超える。生産者のこだわりが詰まった原料を、化粧品を媒体として全国に流通させ、知名度向上と地域振興によって生産者へ価値を還元するFGPは、生産者応援プロジェクトとして日々進化を遂げている。

FGPに賛同する化粧品メーカーからは、「配合されている原料がどんな環境で誰に育てられているかまで知ることができ、よりトレーサブルなものづくりができています」「原料の産地を訪れる人にも知ってもらいたい」とい、その産地でも商品を販売する取り組みを行った」などの声が寄せられている。生産者は素材を販売することで出荷数が増え、サティス製薬は理念に基づいた高性能な製品を開発できる。そして販売メーカーは差別化に繋がる商品を展開でき、消費者は美容に関する素材や産地情報が得られると同時に、日々の化粧品の購入で社会に貢献できる。さらには、素材に興味を持った消費者が産地を訪れ、地域振興や文化継承のきっかけとなる好循環をFGPは描いている。この循環はOEMメーカーというポジションだからこそできるものであり、同社は多くの販売メーカーと連携しながら、情報を共有・拡散している。

14年の間に山崎代表が会った農家の中には、唯一無二の素晴らしい効能を持つ原料を生産しながらも、後継者がいなく途絶えてしまったところもある。「秀逸な一次産業が、もっと割に合う仕事にアップデートされるべきだ。今後、日本のスキンケアが世界で活躍し、日本の自然と一次産業が創り出す『日本の原料』が世界のトップ水準だと、世界が認める状態をつくり出していきたい」。



**山崎智士**  
サティス製薬 代表取締役

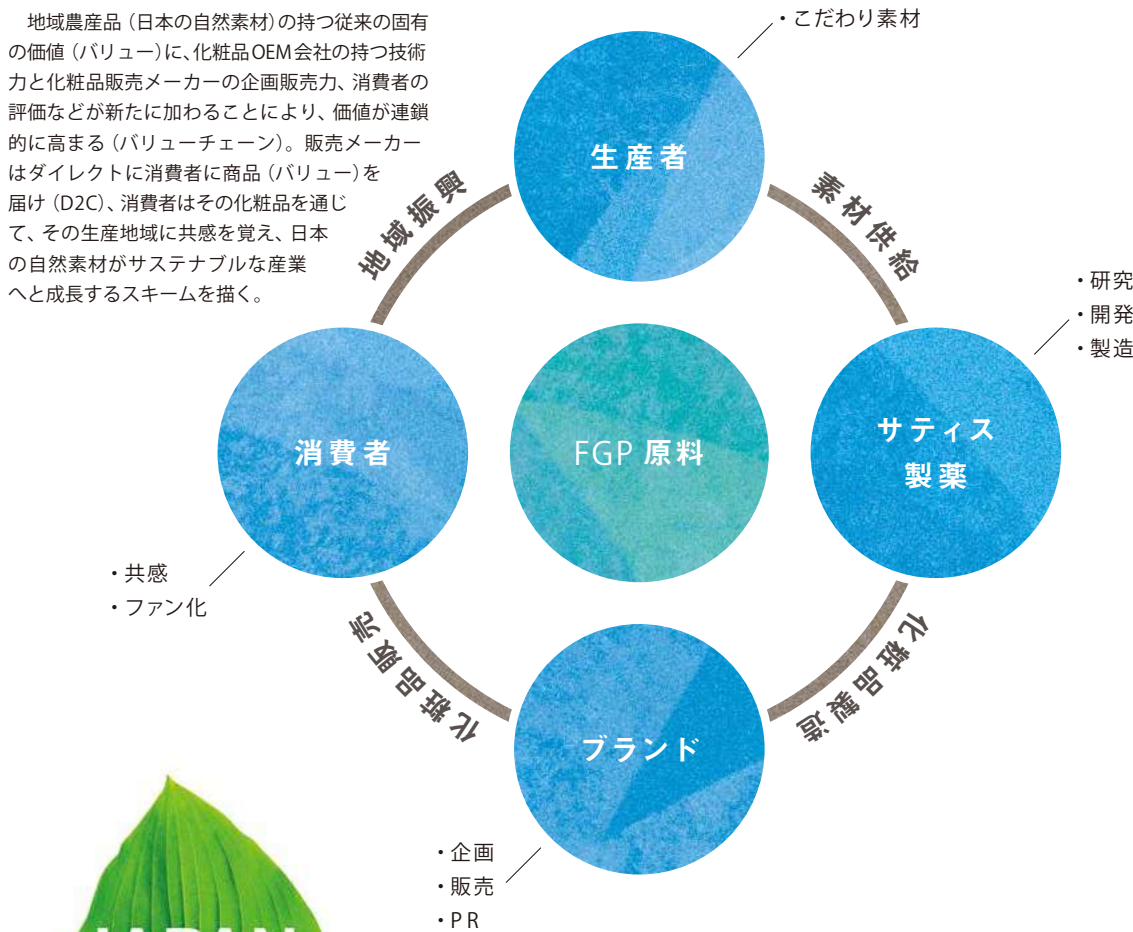
PROFILE: (やまざき・さとし) 1972年9月18日生まれ、東京都出身。アトピー性皮膚炎を患う子どもたちと関わり、「技術で皮膚を変え、皮膚が変わることで人生が変わる」、そんなきっかけを広く提供したいと99年12月にサティス製薬を起業した

### COMPANY PROFILE : サティス製薬

化粧品のOEMメーカーとして、約800ブランドの開発・生産を手がけ、埼玉県吉川市に本社工場、東京・江東区にラボを所有。山崎代表はエンジェル投資家としての顔も持ち、スタートアップ企業のバルクコムやメデテラなどにも出資している

### PICK UP 1

#### 「ふるさと元気プロジェクト」全体スキーム



### PICK UP 2

#### 「ふるさと元気プロジェクト」7か条

1. 化粧品産業を通じて、ふるさと(地域・日本)の元気に貢献します
2. 日本の環境から得られ、世界が享受する価値を持っている素材を選びます
3. 素材の選定には、その素材の生育(採取)に最も優れた土地を選びます
4. 生産される素材は、最も優れた生産技術者によって作られた素材を選びます
5. 素材は余す事無く使用し、廃棄部分を極力少なくする努力を行います
6. 皮膚への有用性と安全性が最適化する加工技術を用いて原料とします
7. 素材の付加価値が最大化する相応しい表現をもって市場に伝えます

### PICK UP 3

#### 原料開発数が100種に到達!

23年7月、「FGP」によって生まれた化粧品原料が100種類を超えた。同原料を配合した化粧品の年間出荷数は、発足当時の10年は14万個だったが、22年には2700万個以上に増加。数字でも共感と支援の輪が広がっていることを示している。



### TOPICS

#### 「Japan Beauty and Fashion Tech Awards 2023」大賞を受賞

同賞は@cosmeなどを運営するアイスタイルが主催し、「人を幸せにするイノベーション」としての可能性を持つ商品やサービス、活動などに与えられる。革新性、事業性、技術性、社会性という評価基準に沿って審査され、大賞・準大賞・特別賞が発表される。審査員からは「OEM企業のR&Dとして日本の希少な農産物のデータベースを持ち、地域・素材・商品企画をつなぐ取り組みは、生産者、消費者、ブランド、そしてサティス製薬自身と“四方よし”の仕組みであり、社会性が高い」と高く評価された。世界中で原料のトレーサビリティが求められる今、今後FGPのグローバル発信に期待する声も聞かれた。

